「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | ②職名・授業者氏名 | ③教科 | ④ペアでの話合い活動 | ⑤グループでの話合い活動 |
| ４年１組 | 授業者氏名または学校名 | 算数 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | 簡単な場合についての割合（どちらのゴムがよくのびるかな） |
| ⑦本時のねらい | 平ゴムＡと平ゴムＢののびの違いについて、（学習活動）（育成をめざす資質・能力） |
| ⑧本時の評価規準 | 【評価の観点】〔評価方法〕 |
| ⑨展開 | めあて | どちらのゴムがよくのびるといえるか、調べ方を考えよう。 |
|  | 課　題 |  |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て・　※自校の児童を想定して記入 |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て・　※自校の児童を想定して記入 |
| まとめ |  |
| 振り返り |  |
| 板書計画　　　　めあて　どちらのゴムがよくのびるといえるか、調べ方を考えよう。【問題】平ゴムＡと平ゴムＢがあります。平ゴムＡは50ｃｍが150ｃｍまでのびます。平ゴムＢは、100ｃｍが200ｃｍまでのびます。どちらがよくのびるゴムといえますか。課題まとめふり返り※レイアウトや予想される子どもの出方など　目の前の子どもの実態に合わせて変えて　ください。■平ゴムＢのほうがのびる・のばす前の長さが長いから■どちらも同じ・どちらも100ｃｍのびるから**どのように調べればよいかな**・Ｂのゴムを半分にしてどのくらいのびるか調べる⇒切らずに調べる方法はないかな？・テープ図や式で考えられないかな・倍を使うと調べられそう |